

支笏洞爺国立公園の将来目標（案）

○多様な火山景観を楽しめる公園とする。

- ・支笏湖、洞爺湖をはじめとするカルデラ湖、羊蹄山や昭和新山、樽前山など様々な形式の火山、噴火による自然の改変と再生の営み、地殻変動の痕跡や硫気現象など火山活動を由来とした地形・地質、広大な自然林や高山植物群落、そこに生息する野生生物と一体となった優れた自然景観の適切な保全と利用を図るとともに、環境学習の場としても活用する。

○自然風景と温泉を満喫できる保養地にする。

- ・都市部や空港等から利便性の良い立地にありながらも、原生的な雰囲気を感じられる自然を有する。
- ・散策、自転車、カヌーなどのゆったりとした利用の促進を図る。
- ・温泉地では情緒ある雰囲気を維持して良質な温泉を楽しめる地域づくりを目指す。

○地域に応じた適正かつ快適な利用環境を確立する。

- ・近年増えている新たなレクリエーションも含めて多種多様な自然体験活動がもたらす軋轢を解消し、地域特性に応じた秩序ある利用のあり方を確立する。

○環境へ配慮した公園利用を推進する。

- ・北海道洞爺湖サミット及びJ8サミットで得られた経験を活かし、地球環境や身近な環境問題への関心を呼び起こさせる活動や低炭素化への取り組み、更なる国際化対応などを推進する。

○多様な主体の参画により公園の管理を行う。

- ・自然環境の保全活動や公園利用施設の維持管理にあたっては、地域の活動団体や研究者、行政機関など多様な主体と連携して活動を推進する。